





## ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき2類感染症から5類感染症へと扱いが引き下げられました。2019年12月に中国で最初の感染者が報告されてから約3年半。本当に長かったと感じます。

様々な制限がかけられたこの3年半の生活の中でも、多くの気づきがありました。一つはコミュニケーションの大切さと難しさです。緊急事態宣言や移動制限の中、遠方のお客様や社員と直接のコミュニケーションが取れない日々が続きました。しかしメールやオンライン会議でも、伝えるためにどうすればいいのか考え工夫することできちんと解り合えると実感しました。ただし、これは裏を返せば、実際に会って話していても互いに伝えあう努力は必要だということです。会おうと思えばいつでも会えるとしても、それに甘えてはいけません。そして、会って話せる時間をより一層幸せだと感じられるようにもなりました。

二つ目は社会インフラに関わる私たちの仕事は絶対に止めてはいけない、そのための準備を常にし続けなければいけ

ないということです。当然、自覚していたことではありませんが、サービス停止という事態が可能性として現実的になり、具体的に様々なパターンを想像しました。実際にはそういった事態に陥ることはありませんでしたが、この経験は今後のリスク管理に大きな意味を持つと思います。

社会活動、経済活動の停滞や、多くの人の命までも奪ったコロナ禍。失ったものはとても大きかったですが、私たちはこの経験から得たものを未来に活かすことができます。私たちエステムグループはこれまで以上にコミュニケーションを大切にしながら、絶対に止めないインフラサービスを提供し続けるためにこれからも邁進してまいります。

なお、本レポートに関するご意見、ご感想がありましたら、当社スタッフまで頂ければ幸いです。

株式会社エステム  
代表取締役社長

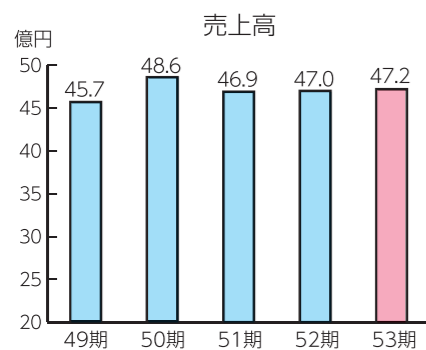
塩崎 敦子



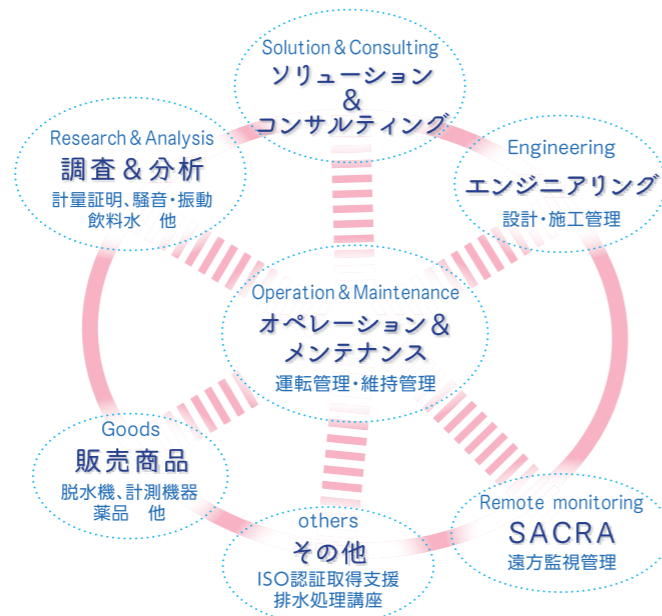
## 会社概要

商号 株式会社エステム  
 本社所在地 〒457-0821  
 名古屋市南区弥次町 2丁目19番地の1  
 TEL:052-611-0611 (代)  
 FAX:052-612-9384

設立 昭和45年(1970年)7月  
 資本金 7,000万円  
 従業員数 456名(2023年4月現在)  
 代表者 塩崎 敦子  
 グループ会社 (株)アイ・メッツ  
 (株)エステム三重  
 (株)日新技術コンサルタント  
 (株)ソリトン



### <エステムの環境技術>



エステムのコア事業はオペレーション&メンテナンス(環境施設の運転管理、維持管理)です。「エステムに依頼すれば何事も必ず満たしてくれる」。真のお客様第一主義を徹底するため、長年の維持管理経験で培った技術力を基に、日本一のサービスを提供することがエステムの基本です。

## 経営理念

株式会社エステムは水を中心とする環境文化と、安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します。

## 環境・品質方針

エステムグループは水を中心とした環境保全事業を推し進めます。正確さ、誠実さをモットーに「安心」と「信頼」を提供し、「お客様第一主義の徹底」、「自然環境と生活環境の保全」を実行することを基本理念とします。

- 基本理念を実現するために、次の項目を重点項目とし、環境・品質目標を各部門で設定して活動します。
  - サービス・製品の品質向上、業務の高度化
  - お客様中心の仕事の仕組みの構築
  - 納期はもちろんのこと、お客様のご期待より早く実行
  - 改善・課題解決力向上とお客様への改善提案の推進
  - 事業活動に伴う省資源・省エネルギーの推進
  - 環境整備を推進
  - 環境問題の啓発活動・ボランティア活動を推進
- お客様要求事項、関連する法規制およびその他要求事項を順守します。
- お客様満足度を向上させるために、環境・品質マネジメントシステムを継続的に改善します。
- SDGsの目標達成に貢献することを視野に入れ、環境負荷の低減、環境汚染の予防、環境保護を推進し、かつ生物多様性に配慮した事業活動を行います。
- 本方針は必要に応じて見直しを行います。また全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します。



弊社では経営理念に謳う「環境文化」の発信、SDGsの取り組みの一つとして、毎年6月に『環境フォーラム』を開催しています。2023年開催の第31回環境フォーラムのテーマは「エシカルな選択をしていますか?~みんなで思いやり溢れる世界の実現を~」です。

エシカルとは、直訳すれば「倫理的な」という意味になります。エシカル消費とは、目に見える商品やサービスそのものだけでなく、そこに繋がっている人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことであり、まさに「選択」です。

誰一人取り残されない世界の実現をめざして2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の17のゴールのうち、**ゴール12「つくる責任 つかう責任」**に特に該当する取組です。

私たちが、それぞれの個性や環境を通して社会的な課題に気づき、その解決のために、自分は何ができるのかを考えてみることで、これが、エシカル消費の第一歩であり、SDGsの目標達成の鍵と言えるでしょう。

## 第53期環境管理計画（2021年10月～2022年9月）主な目標と実績

方針	53期目的・目標	53期実績と今後の課題	全社/ 各部署	
<b>1. 環境関連法規則等の順守</b>				
法令、条例、協定などを遵守し、地域の配慮事項を尊重します	法令、条例について違反はしていません。また訴訟はありません。		全社	
<b>2. 環境負荷の低減活動を推進</b>				
省資源・省エネルギー化を推進します	自動車適正走行により燃費 14.7km/L	全車平均の燃費は 14.6km/L でした。 ※ 48 期から「e 燃費」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 14.7km/L と決めました。この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。	全社	
	低排出ガスを導入	ハイブリッド車の保有台数は 18 台です。53 期の新規導入はありませんでした。	全社	
	電気料金削減	① 従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所（8 か所）も含めた合算で算出することとしました。合算算出するようになった 48 期を基準年としています。 ② 調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行いました。 ③ 毎週水曜日をノー残業デーとし、仕事の効率化を呼びかけています。	本社/ 8 営業所	
廃棄物の削減、リサイクルを推進します	廃棄物を 100% 分別	本社では 3R ステーション（5 分別）を設置し、100% 分別実施しています。各営業所でも分別を推進しています。	本社 各部署	
	紙の 100% 分別・リサイクル	古紙回収システムを確立し、シュレッダー、紙ごみも含めて 100% 分別、リサイクルをしています。	本社	
<b>3. 啓発活動・ボランティア活動を推進</b>				
社員一人ひとりが環境問題に対する関心と知識を深め、啓発活動・ボランティア活動を推進します	エコ・ルール推進	月 1 回エコ・ルールのチェックを実施しています	全社	
	中国・内蒙古自治区における植林		全社	
	鳳来寺つげ野の森育林活動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	全社	
	木曾福島の水源地の森林づくり活動		全社	
	清掃ボランティア実施	本社周辺：毎週火曜日の朝礼後に実施しています		本社
		地域清掃（名古屋市南区、長久手市）：毎月 1 回実施しています		本社
		各地区： 愛知県 明治用水土地改良区 川と海のクリーン大作戦（中止） 愛知県 小牧市民まつり 2021 年（中止） 愛知県 長久手市 530 運動 2022 年 5 月 31 日 4 人参加 愛知県 豊橋市 530 運動 2022 年 5 月 31 日 9 人参加 三重県 町屋海岸清掃 2022 年 3 月 19 日 7 人参加 愛知県 岡崎市の水道水源の保全に向けた事業連携による取り組み「未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」へ参加		各部署
環境フォーラム開催		2022 年 6 月 7 日開催	全社	
<b>4. 環境保全活動を推進</b>				
環境保全活動、環境管理システムの継続的改善、向上に努めます	ISO14001 認証	本社、調査分析センター、保繕工事事務所、小牧営業所、豊田営業所、設楽事務所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、東海営業所、豊橋営業所、浜松営業所、知多事業所、安城浄水事業所、三重支店、(株)エステム三重で認証取得しています。	全社	
<b>5. 環境・品質方針の周知徹底と情報公開</b>				
環境・品質方針を全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します	内定者への教育、購買先、協力会社へ環境・品質方針の周知	内定者を対象に入社前通信教育を実施したほか、購買先、協力会社への環境・品質方針の送付も行いました。	全社	
	環境・品質方針を社会に公開	ホームページ上で公開しています	全社	

## 環境負荷低減活動推進

### 燃費（対象：全社）

全車平均の燃費は 14.61km/L でした。48 期から「e 燃費※」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 14.7km/L と決めました。この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。並行してハイブリッド車の導入も進めていきます。

※ e 燃費 URL <https://e-nenpi.com/>

### 電気料金（対象：本社及び 8 営業所）

- 従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所（8ヶ所）も合算で算出することとしました。48 期を基準年としています。
- 調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行いました。
- 毎週水曜日をノー残業デーとし、仕事の効率化を呼びかけています。

	48 期	53 期
電気使用量合計 (kWh)	506,609	540,755
金額合計 (円)	11,457,815	16,068,627
CO2 排出量 (t)	262.4	266.1

### 太陽光発電（対象：本社、調査分析センター、豊橋営業所）

2008 年 10 月から本社ビル屋上に、2017 年 1 月から調査分析センター、2017 年 9 月から豊橋営業所にも太陽光発電システムを設置し、現在も稼働しています。

### 廃棄物の 100% 分別実施（対象：本社）

53 期の実績は以下の通りです。100% 分別しています。

	50 期	51 期	52 期	53 期
金属屑	289.0	355.3	351.7	330.4
金属付廃プラ	493.9	492.7	380.0	468.3
廃プラ 廃ゴム	1389.7	1177.3	1438.8	1496.4
紙・木 繊維屑	280.4	120.1	117.0	212.8
ガラス屑 陶磁器屑	176.5	212.3	208.9	206.2
廃油	272.9	446.7	314.9	174.8
計	2902.4	2804.4	2811.3	2888.9

## 会社ホームページのリニューアル

ソリューション営業課 上園史子

2022 年に会社ホームページをリニューアルしました。これまでのホームページは企業情報や CSR の報告が中心で、エステムのサービス内容が伝わりにくく、リニューアルすることになりました。

リニューアルするにあたり、まず、「どんなお客様に」「何を伝えたいか」を検討しました。社長の考えとしては「痒い所に手が届く会社だということを知ってほしい」という要望があり、営業部署としては「処理場でトラブルが起きたときには、まずエステムを見つけてもらって連絡いただけるようなサイトにしたい」という考えがあり、その両方を満たすには何を掲載したらいいかを時間をかけて検討しました。

検討を重ねた結果、これまでエステムがお客様のお困りごとを解決してきた『実際の解決事例』を掲載することで「エステムに相談すればなんとかしてくれそうだな」と思っていたのではないかと考えました。そこで、各部署にコストメリットや水質改善につながった解決事例を提出してもらい、掲載するようにしました。また、「処理水質が不安定」「コスト削減」「曝気槽で発砲」「新規処理場建設」等のお困りごと別に事例が確認できるよう工夫しました。（ちなみに、トップページの微生物イラストにカーソルを当てると、その微生物の解説が表示される仕掛けもあります。ぜひお試しください）

最近、新しくお取引が始まったお客様との打ち合わせの際、『エステムのホームページを見て、色々提案してくれそうで頼りになりそうだなと思いました』とおっしゃっていただき、リニューアルした甲斐があったなと感じることができました。

今後もお客様のお困りごとを続けて解決し、お客様に信頼いただける会社づくり、ホームページづくりを進めていきます。





## ボランティア活動推進



### 地域清掃ボランティア実施 (対象：本社、各営業所、事業所)

本社 … 1990年、ある社員の「一緒に道路に落ちているゴミを拾いませんか？」の一言から始まった活動です。  
毎週火曜日の朝礼後に本社周辺のゴミ拾いをしています。

### エステム三重 … 2022年3月19日 町屋海岸清掃ボランティア

エステム三重 加藤 雅大



今回の清掃ボランティアは、三重県津市にある町屋海岸にて実施しました。当日の天候は晴れており、気候も穏やかな日でした。海岸ということもあり、釣りをする人やランニングをしている人なども見られました。よくテレビで見ると、大きなゴミがたくさん落ちているような海岸を想像していましたが、想定していたよりゴミは少なく、綺麗な海岸でした。しかし、ペットボトルや缶などは少なく、ビニール袋などもありました。また、ライターやパーペキューのコンロといったものも見られました。細かいものを中心にしっかりとゴミを集めることができ、今回のボランティアを有意義なものにできたのではないかと考えております。近年、マイクロプラスチックが問題になっていますが、その原因となるゴミは人の手によって捨てられたものであり、増やすも減らすも私たち人間ということを再確認しました。今後もこのような取り組みに積極的に参加していきたいと思っております。

### 豊橋営業所 … 2022年5月31日 豊橋530運動 清掃ボランティア

豊橋営業所 小杉 菜優



豊橋市では530運動という環境美化活動が、語呂合わせになっている5月30日と11月の豊橋市民の日を中心に行われています。530運動の始まりは豊橋市内の東部丘陵地帯に自然歩道が整備された際に、山にゴミが大量に残されてしまったため、『自分のゴミは自分で持ち帰りましょう』を合言葉に当時の豊橋山岳会長の夏目久男さんが訴えたのがきっかけです。

私は今回初めて参加させて頂き、出身地である兵庫県ではこのような環境美化活動がなかったため、地域によって環境整備意識の違いに驚きました。学生時代に多くボランティア活動に参加させて頂きましたが、このように市が一丸となって環境に対して活動されているのはあまり拝見して来なかったため、地域全体が自然を大切に活動に参加させて頂き嬉しく思います。

530運動は昭和50年から歴史が古く、環境に関する意識の高さに感銘を受けました。

私が今行っている仕事も、環境を守るという意味では同じです。まだ先輩に教わりながらではありますが、これからも豊橋市の自然を地域の皆様と共に守っていきたく感じました。

### 長久手事業所 … 2022年5月31日 長久手530運動

長久手事業所 横田 美優



5月31日に長久手市で開催された530運動に参加しました。私は今までに地域のごみ拾い活動に参加したことは殆どなく、今回の活動をとっても楽しみにしていました。実際に参加してみると、長久手市に移住してからまだ歩いたことのない道を歩いて、街並みを楽しむことができました。

当日は、決められた範囲の中でそれぞれが分散してごみを拾うものだと思っていましたが、実際は決められたルートを一列を組んで歩きながらごみ拾いをしました。地域の子どもや高齢者の方をはじめ、ご家族での参加が多かったです。それぞれが談笑をしつつ、楽しみながらごみを拾っていたことが、とても印象的に残りました。

### チャリティーカレンダー展へのカレンダー寄付 (対象：全社)

年末年始にはお客様や協力会社から頂いて余ってしまったカレンダーや手帳類を広島ケナフの会主催のチャリティーカレンダー展へ送付しています。全国から善意で寄せられたカレンダーや手帳は1点100円で販売され、その収益金があしなが育英会に寄付されたほか、全国の被災地にある仮設住宅や福祉施設等にも寄贈されました。

### 古切手、プリペイドカード回収 (対象：本社)

古切手や使用済みプリペイドカードを集め、財団法人ジョイセフに届けています。これらは資金化され、アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどの母子保健、寄生虫予防、栄養改善等の生活改善運動に活用されています。ただ捨ててしまえば廃棄物ですが、普段の生活において、ほんの少し意識するだけで気軽にできるボランティアです。

## 環境シゴト博の開催



### 今年度の環境シゴト博

2023年に開催した環境シゴト博は、オンラインでは2月8～10日の3日程、対面では2月22日の1日程で行いました。

エステムをはじめ、水処理、土壌処理、廃棄物処理事業など、環境に関わる企業が出展企業として集結しました。オンライン開催ということもあり、東海地方以外の企業の出展もありました。また、参加者の方も、全国の様々な学校から環境に興味のある学生が集いました。

会場開催日には、マスクの着用、アルコール消毒、パーティション設置、ブース少人数制などの感染症対策を実施、開催に臨みました。各企業のPRタイムでは、弊社社長の塩崎が環境シゴト博というイベントを企画した経緯、環境に関わる仕事に対する想いなどを熱く語り、学生の皆さんに真剣に聞いていただきました。

エステムでは、社長自らブースに登壇して、来場いただいた方とお話させていただいています。今回は少人数制ということもあり、一人一人とじっくりお話を取ることができました。その他にも、若手の現場社員に仕事内容を直接聞くことができるブースで、実際の水処理場の水を持ち込み、簡易な水質分析(パックテスト)体験なども行いました。ブースに来場された学生の皆さんは、処理される前後の水の見た目やにおいに興味津々のようでした。当日は応用生物学部、理工学部、農学部を中心に、文系学科の学生まで、さまざまな学生が来場していただきました。



環境シゴト博は  
これからも継続的に開催予定です。

エステムグループは、これからも、  
新しい仕事に進んでチャレンジしていきます!

## 「2022 未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」

男川浄水事業所 河野大虫

このプロジェクトは生活に欠かせない水道水を未来にわたり、安定して市民の皆様へ供給し続ける為、水道水源を保全する事業です。

2020年9月28日に岡崎市様を中心とした12の企業、団体が協定を締結しました。それから約2年半の月日が経ち、ようやく軌道に乗り始めてきました。

### 2022年度の主な活動内容

8月26日に岡崎市東部(額田地区北部)の6水源の周辺調査を行い、今後我々が活動していく場所の確認等を行いました。この時、三川分水嶺がある巴山の山頂に登りました。ここを境として矢作川、豊川、男川、「それぞれの川に流れている」と云われていることを知りました。

11月11日に岡崎市の乙川源流清掃として本宮山の頂上付近にある乙川の源流の清掃を行いました。この時、長年放置された古タイヤ等を回収しましたが、土に埋もれたタイヤを掘り出すのが大変でした。

12月16日には水源保全のための安全講習を受けました。水源を保ち、より良い水を生み出すためには、森を綺麗にしていくことが必要となります。その為、森林作業に必要なチェーンソーの扱い方やロープワークを学びました。中でもチェーンソーで実際に丸太を切る作業は難しかったです。

この活動を行い、少しでも地元の山が美しくなり、そして、その山から美しい水が流れてくることを思うと嬉しくなり幸せな気分になりました。私の体が動く限り、続けていきたいと思っております。





## 第31回 環境フォーラム



### 2022年環境フォーラム 委員長感想

プラントシステム課 堀井拓野

環境フォーラムとは環境月間である6月に開催している弊社主催のイベントです。経営理念にある「環境文化の創造」を体現するイベントであり、2023年6月で32回目の開催となります。毎年環境フォーラム委員が発足しイチからイベントを作り上げています。これまで取り上げてきたテーマは弊社のビジネスの中心にある「水」に関するものや「食」、「里山」、「エネルギー」など様々ですがどれも環境や社会を見つめ直すようなメッセージがこめられていたのではないかと思います。私が環境フォーラム委員長を務めた第31回のテーマは「グリーンリカバリー」でした。グリーンリカバリーとは新型コロナウイルス感染症の影響による経済停滞からの回復を、気候変動対策とともに進める手法のことです。

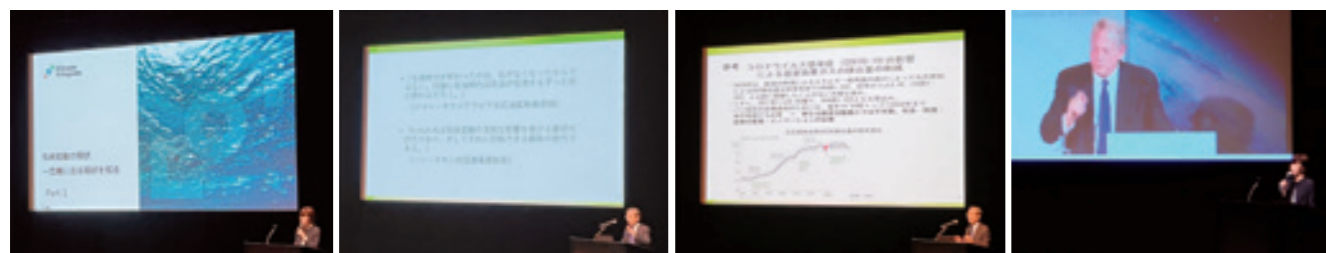
第31回で新しく取り組んだことは講師へのインタビューです。「この人の講演を聞いてみたい!」と思えるような資料をお届けすることでフォーラムをより有意義なイベントにしたいと思ったのがきっかけです。良いインタビューをする為に、テーマについて勉強し、講師の著書を読み、経歴や考えを学びました。委員で質問事項を話し合い、大まかな流れを決めてインタビューに臨みました。講師は環境庁時代に地球サミットの事務局を務めた松下和夫さんと NPO 法人での活動を評価されゴールドマン環境賞を受賞した平田公子さんです。オンラインでのインタビューでしたがリアルタイムのやりとりにとっても緊張感がありました。このインタビューを委員がきれいな記事にまとめてくれた時はとても達成感がありました。この期間はまるで自分がメディア業界にインターンしているかのよう

な気分でした。インタビューの記憶や完成した記事を思い返すと「こんなことができたんだ」という気持ちになり、今でも自分の支えになっていると思います。

環境フォーラム開催にあたり一番気がかりだったことは集客です。無料のイベントですがウイックあいちという大きな会場で開催することもあり、たくさんの方に参加してもらいたいという気持ちがありました。SNS や web サイト、公共施設での案内状の掲示など行いましたがあまり申し込みは増えませんでした。そんな中一番効果があったのは社員が行うお客様への案内でした。普段の業務を通じて信頼関係を築いていることが結果につながったのだと思います。それぞれの現場で活躍するエステム社員のありがたさを感じた瞬間でした。

2022年6月7日 環境フォーラム本番 平田公子さんからは化石燃料脱却への強いメッセージを受け取りました。松下和夫さんからは精緻な事例紹介をして頂きました。

テーマをグリーンリカバリーに決めた2022年1月から約2か月後、2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。コロナ禍により停滞した経済に、燃料価格上昇に端を発した物価上昇は重くのしかかりました。ウクライナ侵攻は未だ出口が見えないように思います。グリーンリカバリーは道半ばです。環境フォーラムを通じて私は、日々の生活や目まぐるしく変わる社会情勢にとらわれているときにも気候危機に対して意識するようになりました。今までの環境フォーラムも誰かにこういった影響を与えられていたのだろうかと思う時があります。これからも環境フォーラムが社会との関わりを考えるイベントとして継続していけるように社員の立場から関わっていきたいと思います。



## 排水処理講座



### 2022年度も排水処理講座を開催しました!

ソリューション営業課

毎年開催している排水処理講座を、2022年度もオンラインで開催しました。

今年度の排水処理講座では、理解を深めていただくため、2点改善しました。まず1点目、見逃し配信の実施です。オンラインの場合、音声が届き取りにくくても、聞き返すタイミングがありません。それを解消するため、講義終了後のアンケートにご回答いただいた方に見逃し配信のURLをプレゼントしました。2点目は、講義終了後の、メールによる質問受付です。見逃し配信で理解を深めていただいたご参加者様より質問をしたいとの問い合わせがありました。そのため、講義終了後1週間はメールによる質問を受け付けました。

また、より広範囲のお客様にご参加いただくため、ダイレクトメールにて定期的にご案内しました。その結果、中国地方、東北地方のお客様にも多くご参加いただきました。ご参加者様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も、東海地方のお客様のみならず、全国の方々にエステムを知っていただきたいです。そして、廃水のことからエステムに相談したいと思っていただけるような講座にしていきたいと思えます。

### 2023年度 排水処理講座のご案内 開催月：2024年3月を除く奇数月

#### 2023年度の排水処理講座では、管理基礎コース及び法律基礎コースがリニューアルします!

管理基礎コースは窒素処理法、法律基礎コースは水質汚濁防止法の最新情報、下水道法と水質汚濁防止法の違い(自分の会社はどの法律を遵守しないといけないの?)をわかりやすく解説します。2023年度もオンライン開催です。

詳細は、エステム HP のピックアップよりご確認ください (<https://bit.ly/3z7RFBd>)。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## 環境方針の周知徹底と情報公開

### ホームページ

エステムではサービス内容、お悩み解決事例などを紹介した「会社HP」と、「採用サイト」を運用しています。採用サイト (<https://stem-saiyou.jp/>) は 2019 年に、会社 HP (<https://www.stem.co.jp/>) は 2022 年にリニューアルいたしました。ぜひご利用ください。



採用サイト



### 環境・コミュニケーションレポートの作成

社会的な説明責任の観点から、年1回、環境保全の取り組みや環境負荷低減に関するレポートを作成しています。バックナンバーはエステム HP の「環境・コミュニケーションレポート」からダウンロードできます。